

EMIS入力方法・内容

2024年5月24日

長崎県医療政策課

長崎県ロジスティクス検討部会

EMISに医療機関基本情報を入力する必要性

- EMIS ： 広域災害救急医療情報システム

医療機関の機能維持に不可欠な施設用水及び燃料共有に関わる施設情報を事前にEMIS上に入力することによって、円滑な燃料供給体制を構築する。

災害時燃料供給において、燃料調整シートを作成し災害対策本部に供給要請を行うことから、医療機関の基本情報、施設情報（燃料調整シートの記入項目を反映）の情報提供が必要となる。

基本情報入力の手順

1. 現在の入力状況の把握

EMISにログインし、現在の入力状況を確認してください。

2. 未入力情報の調査

EMISにて未入力になっている情報を調べます。

3. 基本情報再入力

基本情報の再入力を行います。最後の「更新」を忘れないようにしてください。

EIMS基本情報に必要な情報

- 耐震化の有無、医療機器・収納棚・オーダリングPCの固定
- 備蓄倉庫、災害時用医薬品・衛生資機材・食料・飲料水の備蓄
- 受水槽（有無、容量、設置場所）、井戸設備有無、水使用量（平日・休日平均）、給水車ホース長
- 電気主任技術者（勤務体系、氏名、連絡先）、受電回線数と受電電圧、1日に必要な電力量（平日、休日、最低限）、優先供給の有無
- 自家発電・コージェネ情報：設置場所（ハザードマップの考慮）、発電容量（KVA）、燃料種類、燃料量（kL、稼働時間）、給油規格（名称、口径、形式）、燃料タンクの場所、燃料タンクまでのホース長、優先供給の締結、定期的な試運転
- EV台数（乗用、寝台用）、自動復旧システムの整備、優先復旧の協定
- 通信：災害時用通信回線、災害時用インターネット回線

EMISでの操作画面

ログイン方法

EMIS

Emergency Medical Information System

Home > ログイン/ログアウト

運用状況

●ログイン情報を入力してください。

<<注意>>

1. 機関コード、パスワードは半角英数字を入力してください。

2. パスワードの大文字、小文字は区別されます。

3. ログアウトした場合は、機関コードおよびパスワードを再度入力する必要があります。

機関コード:

パスワード:

所属:

長崎県

☐ ログイン情報を端末(クッキー)に保存する。

※保存すると、次回からログイン情報の入力を省略できます。

ログイン

予め配布されている機関コード、パスワードを入力し、所属は「長崎県」を選択し、ログインする。
*コード、パスワードが不明な場合、県立保健所管内の病院は管轄保健所へ、長崎市・佐世保市の病院は県医療政策課にお問い合わせください。

緊急情報

お知らせ

厚生労働省

都道府県

一覧へ

現在、緊急情報はありません。

医療機関

DMAT

本部活動

施設情報

MATTS

練習管理

マイメニュー

共通

緊急時入力

詳細入力

医療機関等状況モニター

医療機関基本情報表示

医療機関情報検索

個人練習モード

合同練習モード

システム管理

DMAT関連業務

基礎情報管理

医療機関基本情報管理

【基礎情報管理】

施設名称、住所、メールアドレスなどを登録します。

【医療機関基本情報管理】

次項以降で解説

入力モードの切り替え

「関係者メニューに切り替える」をクリックする。

自機関の被災状況を入力する

自機関の基本情報を入力する

緊急時入力

詳細入力

個人練習モード

合同練習モード

医療機関基本情報管理

情報を収集する

医療機関等状況モニター

関係者メニューに切り替える

基本情報 1

医療機関基本情報管理

施設情報です。

間違いがないか再度ご確認ください。

医療機関名

施設更新日時

施設更新時刻

2020/09/05 16:08:32

基本情報

施設情報1

※表示されるタブはユーザーにより異なります。

※「基本情報」を登録するとその他のタブが入力できるようになります。(一部のユーザーは除く)

更新

入力に関する留意事項 - PDF

基本情報

施設情報

機関コード

所属

機関名称

保険医療機関番号

郵便番号

住所

代表電話番号

災害時用電話番号1

災害時用電話番号2

長崎県

※正式名称を入力してください。

例:〇〇県立××病院、〇〇会××病院

例:〒123-4567 → 1234567 ※ハイフンを付けないで入力してください。

例:〇〇市××町2-50-3

例:123-456-7890 ※ハイフンを付けて入力してください。

例:123-456-7890 ※ハイフンを付けて入力してください。

例:123-456-7890 ※ハイフンを付けて入力してください。

医療機関基本情報管理

代表FAX番号 例:123-456-7890 ※ハイフンをつけて入力してください

施設管理者 ※組織の表名を入力してください

担当部署

担当姓名

EMIS入力担当者

開設者種別 ☐ 国 ☐ 独立行政法人 ☐ 国立大学法人 ☐ 経産省所属
☐ 市町村 ☐ 地方独立行政法人 ☐ 日本赤十字社 ☐ 済生会
☐ 厚生連 ☐ 学校法人 ☒ その他

事業区分 ☐ 基幹災害拠点センター ☐ 地域災害拠点センター ☒ 指定無し

事業区分指定年度 年度 例:2010 ※西暦で入力

救急診療体制のありか ☐ 初期 ☐ 2次 ☐ 救命救急センター

ドクターヘリ基地病院の指定 ☐ 有 ☒ 無

DMAT指定 ☐ 有 ☒ 無

DMAT指定年度 年度 例:2010 ※西暦で入力

DMATチーム数 チーム数: 0 計算 医師数: 看護数: 業務調整員数:

救急救護数 医師数: 人 救急救護数(救急看護): 人

救護体制

許可内床数 床 手術室数 床

救急外来床数 床 結核外来床数 床

ICU外来数 床 感染症外来床数 床

専門救急医療数 (英)

年間救急外来患者数 人 年間緊急入院患者数 人

年間入院患者数 人 三次救急患者数 人

医療機関基本情報管理

[illegible]

医療機関基本情報管理

診療科登録情報 FAC

☐ 救急科	☐ 呼吸器科	☐ 消化器科（胃腸科）
☐ 循環器科	☐ 小児科	☐ 精神科
☐ 神経科（神経内科）	☐ 外科	☐ 整形外科
☐ 形成外科	☐ 脳神経外科	☐ 心臓血管外科
☐ 産婦人科（産科、婦人科）	☒ 眼科	☐ 耳鼻咽喉科
☐ 皮膚科	☐ 泌尿器科	☐ 放射線科
☐ 眼科	☐ 歯科	☐ 内科
☐ その他		

一斉登録情報 FAC

FAX1

FAX2

メールアドレス1

※一斉登録情報は、施設情報管理の一斉登録情報で入力済みの項目を表示しています。
 修正する場合、施設情報管理から修正をお願いたします。

更新

入力完了後に【更新】をクリック

※更新しないまま次ページに行くと、変更内容が反映されません。

医療機関基本情報管理

- 入力項目
耐震化の有無、医療機器・収納棚・オーダリングPCの固定

災害時利用設備情報						
新築構造	☒ 全て	☐ 救急外来	☐ ICU	☐ 手術室	☐ CT	☐ 入浴棟
	☐ 一部	☐ 外来棟	☐ 管理棟	☐ 1211-関連施設	☐ その他	
	☐ 無					
医療機器の固定 (FAG)	無固定の固定	☒ 有	☐ 無			
	血管造影機器の固定	☐ 有	☒ 無			
	CTの固定	☒ 有	☐ 無			
収納機	☐ 全て	☐ 救急外来	☐ ICU	☐ 手術室	☐ その他	
収納機	☒ 一部固定					
収納機	☐ していない					
オーダリングPC	全て	☐ 救急外来	☐ ICU	☐ 手術室	☐ その他	
	一部固定					
	☒ していない					

災害時用設備情報 2 (備蓄)

医療機関基本情報管理

・入力項目

備蓄倉庫、災害時用医薬品・衛生資機材・食料の備蓄

備蓄倉庫	☒ 有 (m ²)	☐ 無
衛生資機材 備蓄日数	☒ 1日分 ☐ 2日分	☐ 3日以上 ☐ 無
多数患者の来院の想定有無	☒ 有	☐ 無
優先的な供給協定の締結有無	☒ 有	☐ 無
災害時用食料の備蓄 備蓄日数(患者用)	☒ 1日分 ☐ 2日分	☐ 3日以上 ☐ 無
備蓄日数(職員用)	☒ 1日分 ☐ 2日分	☐ 3日以上 ☐ 無
多数患者の来院や、帰宅困難職員への対応の想定有無	☒ 有	☐ 無
優先的な供給協定の締結有無	☒ 有	☐ 無

災害時用設備情報 3 (備蓄)

医療機関基本情報管理

・入力項目

災害時用飲料水の備蓄

災害時用飲料水の備蓄	備蓄日数(患者用)	☒ 1日分 ☐ 2日分	☐ 3日以上 ☐ 無
	備蓄日数(職員用)	☒ 1日分 ☐ 2日分	☐ 3日以上 ☐ 無
	多数患者の来院や、帰宅困難職員への対応の想定有無	☒ 有	☐ 無
	優先的な供給協定の締結有無	☐ 有 (事業者名)	☒ 無

災害時用設備情報 4 (施設用水)

・入力項目

受水槽（有無、容量、設置場所）

井戸設備有無

水使用量（平日・休日平均）：請求書などで確認可

給水車停止位置からのホース長：給水時に必要な情報

受水槽	☒ 有 (容量 t)	設置位置 設置位置を選択	☐ 無
高架水槽	☒ 有 (容量 t)	☐ 無	
井戸設備	☒ 有	☐ 無	
平日の使用量 (平均値)	t		
休日の使用量 (平均値)	t		
優先的な給水協定の締結有無	☐ 有 (事業者名)	☒ 無	
給水車停車位置から受水槽までの必要なホース長	m		
その他	複数保有している場合、上記の施設用水情報に準じた内容を入力してください。(300文字以内)		

受水槽（有無、容量、設置場所）

一定規模以上の施設においては、市町村などから供給される水道水を、受水槽に貯めてから施設内に供給し使用される仕組みの場合が多い。その場合、受水槽の有効容量の合計が 10m^3 を超えるものを簡易専用水道（水道法第3条第7項、水道法施行令第2条）といい、簡易専用水道は、毎年1回以上定期的に検査を受けます。

簡易専用水道設置届

第9号様式(第8条関係)

(表面)

簡易専用水道設置届出書

年 月 日

(あて先)長崎市保健所長

設置者 住 所
氏 名

〔法人又は組合にあつては、主たる事務所の〕
所在地及び名称並びに代表者の氏名

長崎市専用水道及び簡易専用水道取扱規則第8条第1項の規定により届け出ます。

受水槽	設置年月日	年 月 日	位 置	地上・半地下・地下・他
	槽 数	基	※有効容量	合計 m ³
	材 質		排水設備	有 ・ 無
	水位警報装置	有 ・ 無	通 気 孔	有 ・ 無

設置場所

容量
1m³→1t

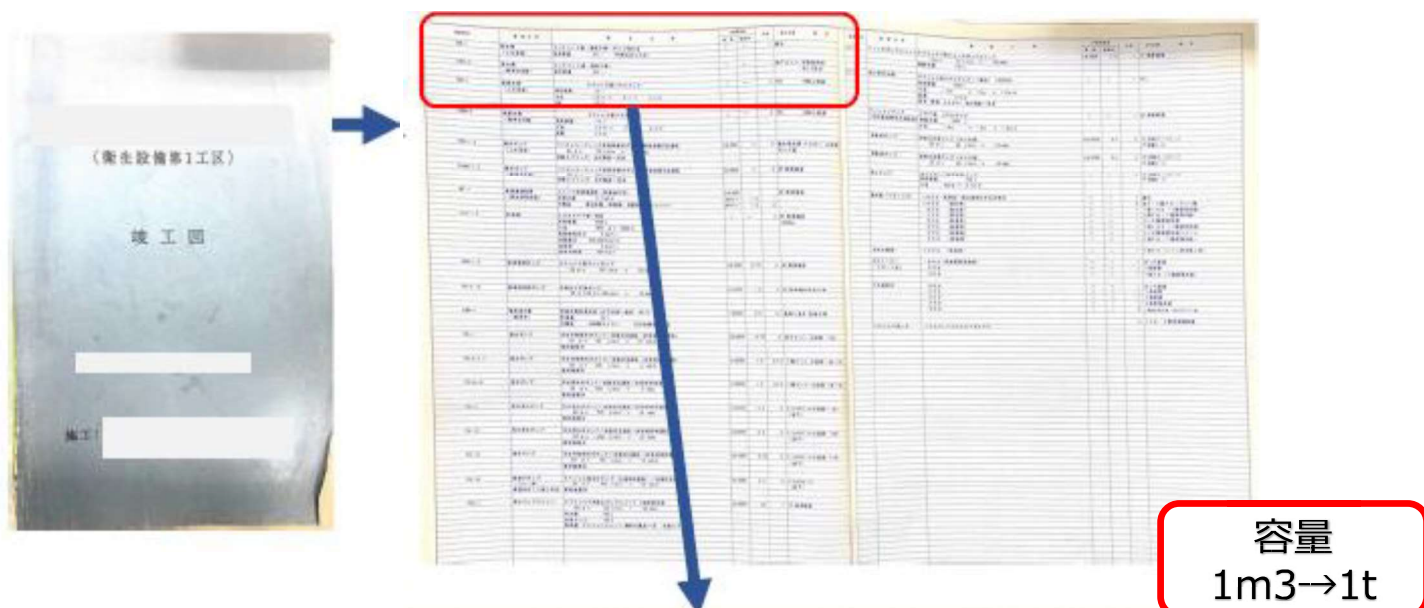
〔高置水槽がある場合〕

高置水槽	設置年月日	年 月 日	位 置	屋上・屋内・屋外・他
	槽 数	基	※有効容量	合計 m ³
	材 質	鉄筋コンクリート・鋼・FRP その他()	配 水 管	有 ・ 無

設置場所

容量
1m³→1t

医療機関開設時の書類等による確認



機器番号	機器名称	機種仕様
TCW-1	受水槽 (上水系統)	コンクリート製 (建築工事) ポンプ室付き 有効容量 310 m³ (中間仕切り付き)
TCWW-2	受水槽 (雑用水系統)	コンクリート製 (建築工事) 有効容量 400 m³
THW-1	高置水槽 (上水系統)	ステンレス製パネルタンク 有効容量 20 m³ 寸法 2.5 m × 4 m × 2 m H 質量 2.0 t

水使用量（平日・休日平均）：請求書などで要確認

平日・休日の使用量（平均値）（t）

中央監視装置を設置している医療機関においては、監視装置の帳票出力機能を活用し、給水量の月報・日報データが確認可能のときは、そのデータを活用する。

帳票等のデータ活用が不可能の場合は、各市町村からの水道料金納入済通知書等の使用水量（ m^3 ）を入力する。その他日々のメーター検針記録での入力としてもよい。

（※井戸水を上水に使用している施設においては、公共水道と井戸水を合算した数値を入力すること。）

中央監視装置データを入力する場合

出力した帳票データ

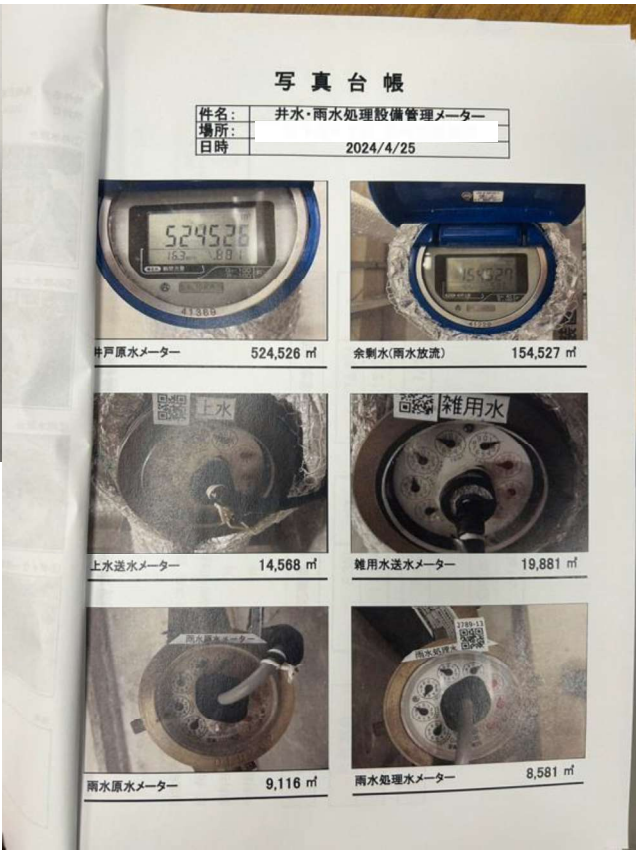
--	--	--	--

	上水量	貯湯槽給水量	貯湯槽送給水量	冷却水給水量	降雨量 (雨量)	雨水利用量	上水給水量 (雨水)	オイルタンク油量 O T I 1	オイルタンク油量 O T I 2	ボイラー1使用油量 B O I 1	ボイラー2使用油量 B O I 2	常用発電機油量 N O 1	常用発電機油量 N O 2	冷水系統熱量	温水系統熱量	外気温度	外気湿度
日付	m3	m3	m3	m3	mm/h	m3	m3	kl	kl	l	l	l	l	GJ/h	GJ/h	℃	%RH
1 (月)	0	40	45	172	28.0	299	14	6.1	24.0	1781	3598	2515	0	8.46	0.00	27.5	97
2 (火)	0	48	49	259	0.0	382	102	0.4	21.4	4236	1843	2139	650	9.91	0.01	28.0	99
3 (水)	0	40	48	209	13.0	397	114	12.4	13.2	1832	3882	2401	377	8.96	0.02	29.5	87
4 (木)	0	41	44	275	0.0	405	130	23.8	4.4	4163	1829	2349	686	9.16	0.01	30.3	83
5 (金)	0	43	45	282	19.0	413	115	19.3	14.8	1889	3907	2445	706	9.21	0.01	30.1	81
6 (土)	0	33	42	240	0.0	334	103	11.0	24.0	3658	1466	2141	31	8.98	0.00	30.1	79
7 (日)	0	31	37	248	0.0	363	92	4.1	24.0	1867	3445	1978	0	7.77	0.01	29.9	80
8 (月)	0	38	38	288	0.0	423	156	-0.1	19.7	4190	1781	2363	775	9.18	0.01	30.2	80
9 (火)	0	38	47	289	0.0	423	143	13.4	10.5	1899	4027	2455	895	9.46	0.02	30.0	84
10 (水)	21	40	46	283	0.0	417	153	23.2	2.1	4069	1737	2354	680	8.81	0.00	30.5	78
11 (木)	0	34	36	290	16.5	376	98	17.1	14.9	1796	3978	2072	0	8.64	0.00	29.7	86
12 (金)	0	33	37	274	32.0	397	182	8.5	24.0	4268	1816	2288	849	9.17	0.00	30.0	85
13 (土)	0	30	43	215	27.0	318	18	1.2	23.2	1787	3614	2161	0	8.30	0.00	29.8	84
14 (日)	0	27	30	242	9.5	339	80	-0.1	16.7	3519	1750	2498	0	8.43	0.00	29.8	86
15 (月)	0	37	41	294	1.0	432	133	12.1	7.8	1988	4490	2419	994	9.68	0.00	30.5	83
16 (火)	0	39	46	299	0.0	429	157	21.3	0.5	4364	2033	2483	997	9.84	0.00	30.7	82
17 (水)	17	41	49	305	0.0	440	160	12.0	12.4	1899	4464	2288	1145	9.53	0.00	30.9	81
18 (木)	66	40	50	296	0.0	433	148	2.8	23.5	4309	1942	2556	1111	9.84	0.02	31.0	80
19 (金)	36	42	51	302	0.0	426	146	13.9	16.5	1841	4320	2469	952	9.32	0.00	31.1	77
20 (土)	4	30	50	278	0.9	383	126	23.8	7.8	3612	1854	2685	0	8.76	0.02	31.5	77
21 (日)	0	30	42	281	0.0	378	126	22.6	0.9	1858	3901	2414	0	8.38	0.00	31.3	79
22 (月)	36	30	38	308	0.0	441	152	14.6	14.9	4144	2098	2513	1011	9.58	0.01	32.1	74
23 (火)	56	35	35	299	0.5	432	156	5.0	24.0	3182	3023	2607	1002	9.91	0.00	31.3	79
24 (水)	58	42	29	393	0.9	437	152	14.4	19.1	4465	1935	2556	926	9.59	0.02	31.8	73
25 (木)	64	40	45	309	0.9	440	150	23.8	8.9	2144	4668	2639	1005	10.44	0.01	32.2	78
26 (金)	49	39	44	315	1.9	445	168	21.2	0.7	4789	2131	2590	1211	10.31	0.00	32.1	81
27 (土)	0	33	40	287	13.9	365	90	12.8	14.5	2065	3819	2011	0	8.30	0.00	29.5	90
28 (日)	0	34	33	283	14.0	399	100	5.2	23.9	3909	2054	1995	0	8.45	0.00	30.0	87
29 (月)	0	39	44	297	0.0	428	138	0.0	20.3	1757	4407	2543	992	9.57	0.01	31.0	81
30 (火)	22	40	41	298	0.5	435	155	15.3	10.8	4250	1912	2507	1033	9.81	0.01	30.7	85
31 (水)	48	37	46	297	0.5	429	159	22.8	8.6	2089	4456	2465	1005	9.90	0.01	30.1	82
月合計	476	1152	1311	8619	175.5	12408	3837	23.8	24.0	93689	92160	73784	19124	13.21	0.32	34.8	100
月最大	66	48	51	315	32.0	446	168	23.8	24.0	4789	4668	2639	1211	13.21	0.32	34.8	100
月最小	0	27	29	172	0.0	299	14	-0.1	-0.1	1757	1466	1978	0	5.34	0.00	25.5	58
月平均	15	37	42	278	5.7	400	124	12.4	14.6	3022	2973	2380	617	9.15	0.01	30.5	82

中央監視装置データを入力する場合

メーター種別	処理水（上水）		処理水（雑用水）	
前月指針	11,784	m3	18,123	m3
当月指針	14,568	m3	19,881	m3
当月分 使用量	2,784	m3	1,758	m3
処理水 合計				
4,542		m3		

- 平日の平均値
- 年間の使用量が多い月の平均値
- 休日の平均値
- 年間の使用量が少ない月の平均値



水道料金納入通知書

水道料金納入済通知書 (水道部・CVS本部控)

口座番号 01720-4-961736

加入者名

018486000000267000000000000000

水道番号 Water No. 1033-0319-000-002

納期限 due date 令和 4年10月31日 (22/10/31)

様

調定年月 For 令和 4年 9月 分 (22/09)

用途

使用水量 4,616 m³

使用期間 8/15~9/15

上水道料金 Water Rate

下水道料金 Sewerage Rate

小計

督促手数料 Late Fee

合計 Total

(018486-267)

上水道水量 4,616 m³

下水道水量 10,192 m³

収納代行会社 電算システム

取りまとめ店 〒812-8794 ゆうちょ銀行 福岡貯金事務センター

領収日付印

(注) 納期限を過ぎると本納付書では納められません。

(注) コンビニでお支払い出来ない場合について
・バーコード印字のないもの
・バーコードが読めないことで受付できないもの
・金額が30万を超えるもの

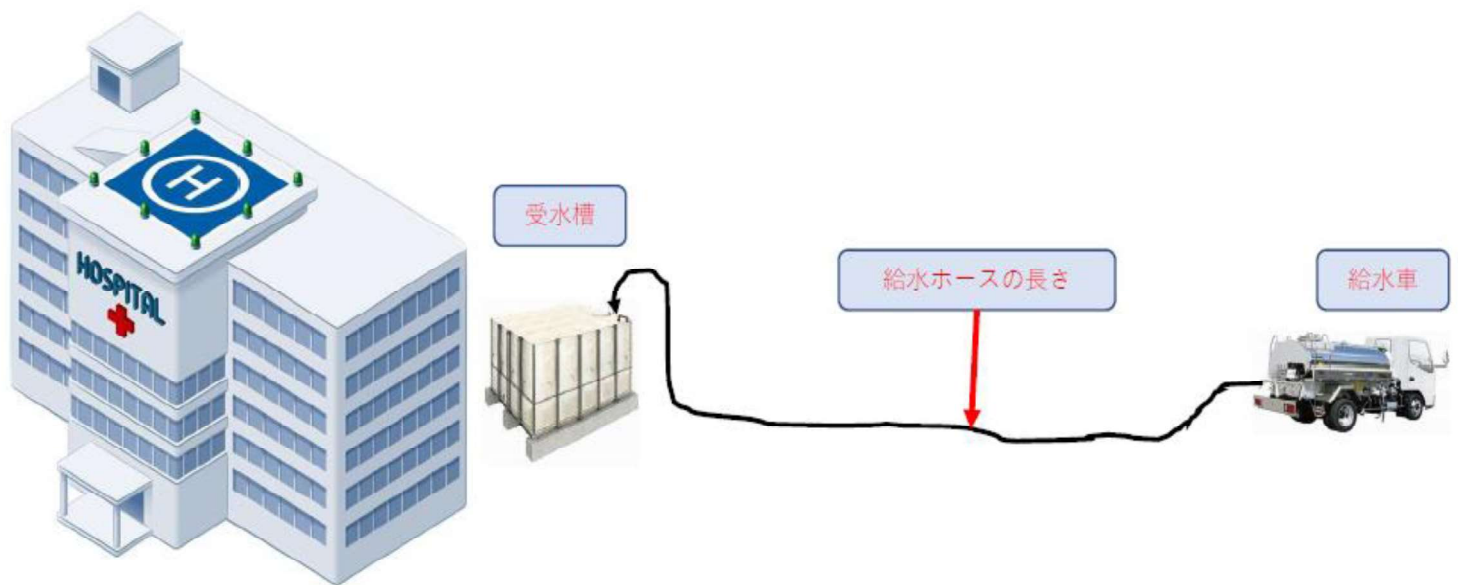
(注) この用紙は、機械で処理しますので折ったり汚したり
穴をあけたりしないでください。

平日の平均値
年間の使用量が多い月の平均値
休日の平均値
年間の使用量が少ない月の平均値

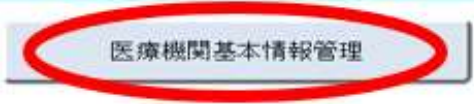
DMAT事務局より資料提供

給水車停止位置からのホース長

受水槽が設置されている箇所の近くで、給水車両が停車できる十分な駐車スペースから、受水槽給水口等までの距離。



災害時用設備情報 5 (電気関連情報)



・ 入力項目

電気主任技術者（勤務体系、氏名、連絡先）

受電回線数と受電電圧

1日に必要な電力量（平日、休日、最低限）

優先供給の有無

電気主任技術者	☒ 常勤 ☐ 非常勤		☐ 無	
	氏名		連絡先 例:123-456-7890 ※ハイフンを付けて入力してください。	
受電回線数と受電電圧	1回線 () V	2回線 () V	3回線 () V	4回線 () V
1日に必要な電力量	平日 () kWh	休日 () kWh	最低限 () kWh	
優先的な電気供給協定の締結有無	☒ 有 (事業者名)		☐ 無	
電源車からの電気供給の場合の車両の駐車位置 (図面添付)	備考 (100文字以内)			

受電電圧 (V)

電力会社との契約書類または帳票データ参照

電気需給契約書

(以下「甲」という。)と沖縄電力株式会社(以下「乙」という。)

とは、電気の需給について、次のとおり契約する。

契約種別	業務用季節別時間別電力	契約電力	750kW
業種および用途	病院		
供給電気方式	交流 3 相 3 線式	標準電圧	8,000 V
需 要 場 所			
需 給 地 点	当社引込線よりの引込線の第一支持点気中開閉器一次側端子		
財産分界点	同 上		
保安責任分界点	同 上		
需 給 開 始 日	平成 14 年 10 月 1 日	検 針 日	毎月 1 日
契 約 期 間	平成 14 年 10 月 1 日から平成 15 年 9 月 30 日まで		

受電電圧

1. 契約期間満了前に甲乙双方において本契約内容に異議のないときは、さらに1年継続してその効力を延伸するものとし、以後この例による。
 2. 乙は、契約電力その他需給契約内容が電気の使用状態に比べて不適当と認められる場合は、契約内容について変更を求めることがある。
 3. 本契約中、主務官庁の許可、認可または承諾を必要とする事項がある場合は、その許可、認可または承諾を得なければその効力を生じない。
 4. 本契約書に記載されていない事項については、乙の業務用季節別時間別電力(選択約款)および乙の電気供給約款による。
なお、契約期間中に、乙の業務用季節別時間別電力(選択約款)電気供給約款に変更があったときの契約関係は、変更後の業務用季節別時間別電力(選択約款)電気供給約款による。
- 上記契約締結の証として本書2通を作成し、甲乙各1通を保有する。

2023年1月						
	本 線 受 電 電 圧	本 線 受 電 電 圧	本 線 受 電 電 圧	本 線 受 電 電 圧	本 線 受 電 電 圧	予 備 線 受 電 電 圧
日付	V	A	Hz	Hz	Hz	V
1 (日)	6618	0	0	60	0.00	6652
2 (月)	6609	0	0	60	0.00	6621
3 (火)	6615	0	0	60	0.00	6639
4 (水)	6491	0	0	60	0.00	6634
5 (木)	6602	0	0	60	0.00	6661
6 (金)	6498	0	0	60	0.00	6662
7 (土)	6600	0	0	60	0.00	6610
8 (日)	6608	0	0	60	0.00	6629
9 (月)	6627	0	0	60	0.00	6679
10 (火)	6611	0	0	60	0.00	6662
11 (水)	6602	0	0	60	0.00	6634
12 (木)	6496	0	0	60	0.00	6672
13 (金)	6604	0	0	60	0.00	6666
14 (土)	6619	0	0	60	0.00	6613
15 (日)	6607	0	0	60	0.00	6642
16 (月)	6614	0	0	60	0.00	6679
17 (火)	6494	0	0	60	0.00	6670
18 (水)	6613	0	0	60	0.00	6673
19 (木)	6493	0	0	60	0.00	6677
20 (金)	6601	0	0	60	0.00	6667
21 (土)	6605	0	0	60	0.00	6673
22 (日)	6620	0	0	60	0.00	6682
23 (月)	6611	0	0	60	0.00	6655
24 (火)	6498	0	0	60	0.00	6698
25 (水)	6624	0	0	60	0.00	6677
26 (木)	6607	0	0	60	0.00	6616
27 (金)	6614	0	0	60	0.00	6685
28 (土)	6632	0	0	60	0.00	6666
29 (日)	6633	0	0	60	0.00	6653
30 (月)	6620	0	0	60	0.00	6682
31 (火)	6601	0	0	60	0.00	6680
月合計					0.00	
月最大	6626	0	0	60	0.00	6725
月最小	6407	0	0	60	0.00	6430
月平均	6609	0	0	60	0.00	6677

1日の必要電気量

1日の必要電気量休日（Kwh）又は最低限（Kwh）

中央監視装置を設置している医療機関においては、監視装置の帳票出力機能を活用し、電力量の月報・日報データが確認可能のときは、そのデータを活用する。

帳票等もデータ活用が不可能の場合は、電力会社からの電気料金明細票等の使用電力量（Kwh）を入力する。その他日々のメーター検針記録での入力としてもよい。

（※自家用発電機も常時運転を行い電力供給している場合は、合算した数値を入力すること。）

電気料金明細票から入力する場合においては、契約種別により

業務用電力Ⅱ型の場合：その他季の使用電力量を月の日数で割った値

業務用季時別の場合：夜間電力の使用量を日曜・祝祭日と平日夜間における総時間数で求めた値

中央監視装置データを入力する場合

		2023年ピーク電力（13時～16時） BMS：14時～16時の数値を合計する。[kWh]																					
		4月		5月		6月		7月（ピーク：13時～16時）		8月（ピーク：13時～16時）		9月（ピーク：13時～16時）		10月		11月		12月		1月			
日付	曜	昼	夜	昼	夜	昼	夜	昼	夜	昼	夜	昼	夜	昼	夜	昼	夜	昼	夜	昼	夜		
1日	土			7,680	木			1,920	火			3,100	金		2,380	日	8,470	水					
2日	日	8,490	火	10,010	金			9,980	水			3,170	土		2,830	月							
3日	月		7,530	土				2,760	木			3,230	日	19,580	火			7,680	日	10,970	水		
4日	火		7,390	日	8,550	火		2,860	金			3,170	月		3,100	水							
5日	水		7,130	月				2,770	土			2,950	火		2,990	木							
6日	木			土				2,920	日	13,320	0	水			2,910	金							
7日	金			日	7,310	水		2,820	月			3,180	木		2,850	土							
8日	土			月				2,110	火			3,100	金		2,840	日	7,270	火					
9日	日	9,510	火					10,160	水			2,800	土		2,510	月	7,540	水					
10日	月			水				2,760	木			2,940	日	16,840	火					8,610	水		
11日	火			木			8,620	火		12,220	0	月			2,840	水							
12日	水			金				2,870	土			2,810	火		2,800	日		9,830	火				
13日	木			土				2,920	日	12,110	0	水			2,870	金							
14日	金			日	7,270	水		2,770	月			3,000	木		2,700	土							
15日	土			月				2,300	火			2,880	金		2,740	日	8,350	水					
16日	日	7,900	火					10,640	水			2,980	土		2,860	月							
17日	月			水				12,410	木			2,880	日	16,440	火								
18日	火			木			9,140	火		3,040	金		2,920	月	16,480	水							
19日	水			金				2,860	土			2,830	火		2,800	日		9,650	火				
20日	木			土				2,900	日	12,600	0	水			2,850	金							
21日	金			日	7,720	水		3,000	月			3,290	木		2,670	土							
22日	土			月				2,930	火			3,090	金		2,480	日	7,590	水					
23日	日	8,910	火					12,870	水			3,120	土	14,770	月								
24日	月			水				2,990	木			2,950	日	14,020	火								
25日	火			木			9,080	火		2,980	金		2,960	月		2,680	水						
26日	水			金				3,130	土			2,820	火		2,800	日		9,790	火				
27日	木			土				3,180	日	12,350	0	水			2,780	金							
28日	金			日	6,710	水		3,180	月			2,980	木		2,690	土							
29日	土			月				3,050	火			3,030	金		2,620	日	7,770	水					
30日	日	7,740	火					12,580	水			2,980	土		2,180	月							
31日				水				3,020	木			2,850	火										
BMS値	計	42,550	計	70,750	計	35,390	計	68,640	70,940	計	62,600	78,010	計	98,130	65,770	計	46,990	計	52,760	計	62,060	計	8
	昼	287,660	昼	285,140	昼	328,030	昼		389,030	昼		409,230	昼		352,320	昼	287,590	昼	316,780	昼	356,500	昼	367
	夜	160,480	夜	151,430	夜	165,140	夜		233,080	夜		240,420	夜		195,780	夜	147,770	夜	174,940	夜	207,800	夜	22
合計	計	448,140	計	436,570	計	493,170	計		622,110	計		649,650	計		548,100	計	435,360	計	491,720	計	564,300	計	58
業務時間別電力A	昼	245,110	昼	214,390	昼	292,640	昼		249,450	昼		268,620	昼		188,420	昼	240,600	昼	264,020	昼	294,440	昼	28
	夜	203,030	夜	222,180	夜	200,530	夜		301,720	夜		303,020	夜		293,910	夜	194,760	夜	227,700	夜	269,860	夜	30
合計	計	448,140	計	436,570	計	493,170	計		622,110	計		649,650	計		548,100	計	435,360	計	491,720	計	564,300	計	58

電気料金明細票等から入力する場合

電力需給契約種別

電気料金明細票

契約番号	40998	契約種別	36	16	契約内容	業務用電力Ⅱ型	契約電力	1,000.0 kW	98
基本料金		基本料金			基本料金		1,000.0 kW		
予備基本料金		予備基本料金			予備基本料金		1,000.0 kW		
自家発電基本料		自家発電基本料			自家発電基本料		650.0 kW		
力割		力割			力割				
他季電力料金		他季電力料金			他季電力料金		189,720 kWh		
夜間電力料金		夜間電力料金			夜間電力料金		179,870 kWh		
電力量料金計		電力量料金計			電力量料金計		369,590 kWh		
料金調整額		料金調整額			料金調整額				
料金		料金			料金				
料金		料金			料金				
ご請求金額		ご請求金額			ご請求金額				
ご請求金額		ご請求金額			ご請求金額				

業務用電力Ⅱ型の場合
夏季電気料金
その他季電気料金
と表示される

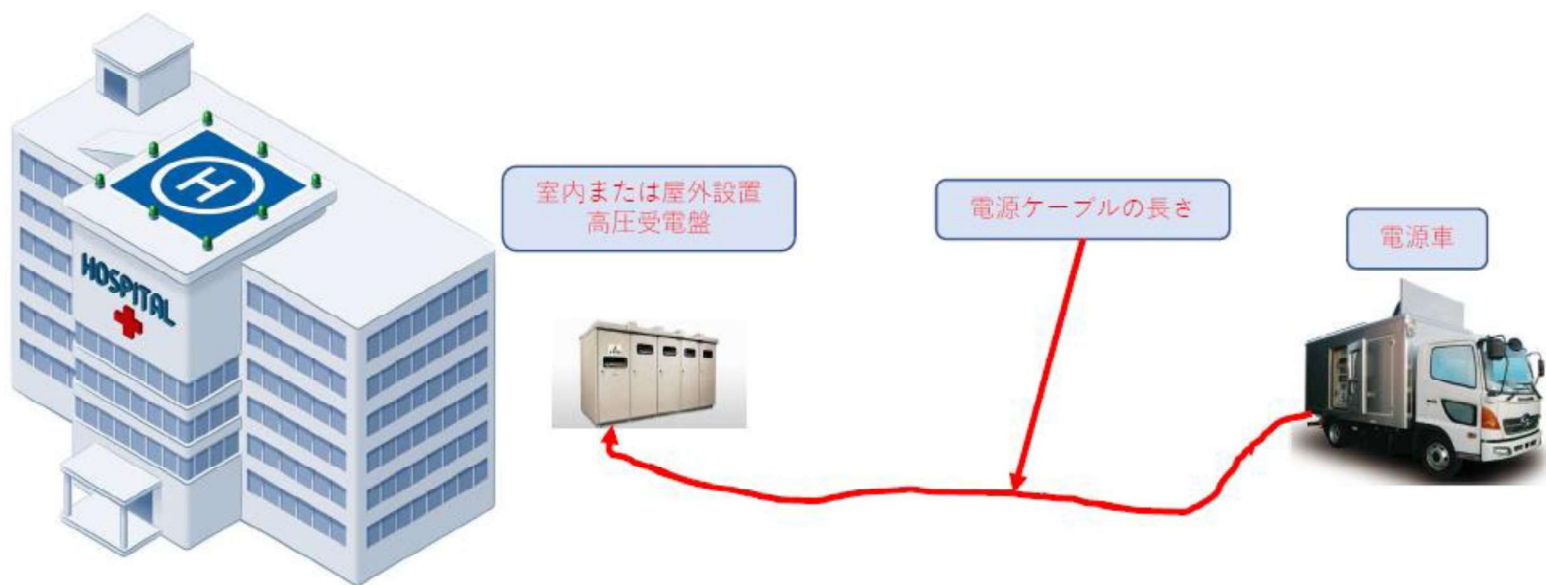
業務用季時別の場合
夜間使用電力量
Kwh + 日曜祝祭日と平日
夜間における総時間数で
求めた値

業務用電力Ⅱ型の場合：
その他季の使用電力量を月の日数で割った値

業務用季時別の場合：
夜間電力の使用量を日曜・祝祭日と平日夜間
における総時間数で求めた値

電源車停車位置および電源ケーブルの長さ

電源車から電気供給する場合の車両停車位置（可能であれば図面添付）
受変電室が設置されている箇所の近くで、電源車が停車できる十分な駐車スペースから、受変電室内の高圧受電盤若しくは屋外に設置されている高圧受電キュービクル盤までの距離。



災害時用設備情報 6 (自家発電機関連情報)

・入力項目

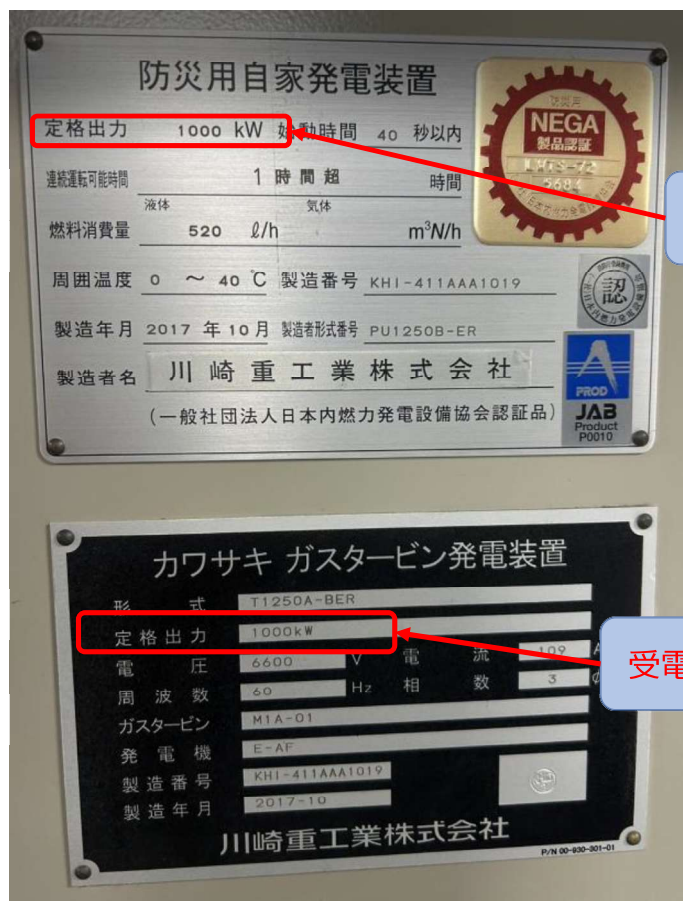
設置場所（ハザードマップの考慮）、発電容量（KVA）、
燃料種類、燃料量（kL、**稼働時間**）、
給油規格（名称、口径、形式）、燃料タンクの場所、
燃料タンクまでのホース長、優先供給の締結、定期的な試運転

有無	☒ 有	☐ 無
設置場所	階	
ハザードマップの考慮	☒ 考慮されている	☐ 考慮されていない
発電容量	約 KVA	
燃料種類	燃料種類を選択 ▼	
燃料量 ※72時間以上が望ましい。	（ ） kL	（ ） 時間稼働
給油口規格	名称： 名称を選択 ▼	口径： 口径を選択 ▼ 形式： 形式を選択 ▼
燃料タンクの場所		
燃料タンクまでの必要なホース長	（ ） m	
優先的な燃料供給協定の締結有無	☒ 有（申請書名 ）	☐ 無
自家発電機の定期的な試運転	☒ 有	☐ 無

発電機の有無及び台数発電容量（KVA）

発電機の台数は、実際に設置されている台数を確認

発電容量は、発電機の認証票や設置届出書より確認



燃料電池発電設備
変電設備
急速充電設備設置(変更)届
内燃機関を原動力とする発電設備
蓄電池設備

〇〇年 〇〇月 〇〇日

市消防長 様

届出者 住所 苫小牧市新開町2丁目12番7号
電話 0144-53-9119
氏名 苫小牧消防社
代表取締役 消防 太郎

防火対象物	所在地 苫小牧市新開町2丁目12番7号 電話 0144-53-9119	名称 苫小牧消防社	用途 15項 事務所
設置場所	構造 RC造	消防用設備 消火器10型 1本	
	階層 屋内(2階)・屋外	不燃区画 ☒ 有 ・ 無	
	床面積 ※〇〇㎡	換気設備 ☒ 有 ・ 無	
電圧	6600/210-105 V	全出力又は定格容量	160 kW
着工(予定)	〇年 〇月 〇日	完成(予定)	〇年 〇月 〇日
設備の概要	種別 キュービクル式(屋内 ・ 屋外) ・ その他	点検、試験又は補修等を実施又は監督する電気主任技術者、電気工事士等の氏名を記入する。	
主任技術者氏名	電気主任技術者 消防 二郎		
工事施工者	住所 苫小牧市 〇〇町〇〇丁目〇〇番地 電話 〇〇-〇〇〇〇		
氏名	〇〇株式会社 代表取締役 消防 三郎		
※受付欄	※経過欄		

発電機燃料の確認方法

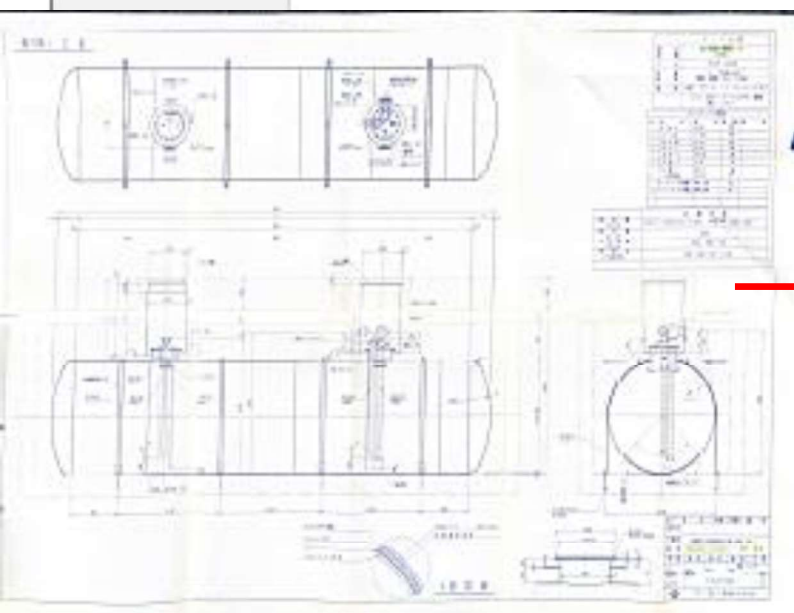
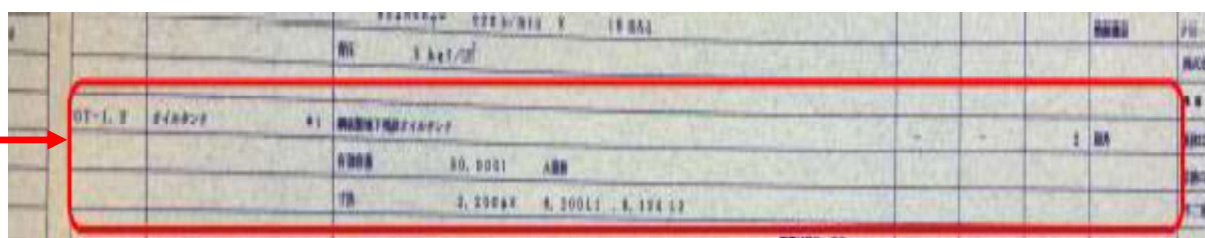
病院を建築する際の設計図書機関製作仕様書または、危険物取扱所設置許可申請書（指定数量以上の取扱い施設）または、少量危険物貯蔵取扱所届出書（指定数量の1/5以上、指定数量未満の施設）により確認

危険物の類、品名 (指定数量)、最大数量
第四類 第三石油類 (A重油)
6950 L

燃料油種

燃料
A重油
ディーゼル機関用

設計竣工図及びタンク詳細図より確認



タンク仕様	
型式	地下埋設式横置タンク
容量	30000L
寸法	10700 × 8250
材質	タンク本体SS400
板厚	胴板、端板 共に、 ϕ 5mm
塗装	丸面 プライマー + ヘッシャングロス (215 L 3045) + タールエポキシ樹脂 厚さ 2mm

オイルタンク付属品

危険物貯蔵所設置許可申請書（指定数量以上の取扱い施設）、少量危険物貯蔵取扱所届出書（指定数量の1/5以上、指定数量未満の施設）または、地下タンク等定期点検実施結果報告書により確認

[illegible]

稼働時間の確認方法

(発電機が常に運転していない場合)
病院を建築する際の設計図書機関製作仕様書の燃料消費率から算出する

燃料消費率	200	+3%	g/kWh	以下(定格出力時)
燃料油消費率	1.1	g/kWh	以下(定格出力時)	
過負荷耐力	110	%	1時間	12時間毎

例) 発電機出力：650KW 燃料消費率：200 g /Kwh = 0.2Kg/Kwh
燃料油の比重0.85 (A重油：0.85 軽油：0.83) における 1 日の燃料使用量

燃料消費率Kg/Kwh × 発電機出力Kw

B =
燃料油の比重

$$= \frac{0.2 \times 650}{0.85} = 152\text{L/h}$$

よって 1 日の燃料使用量は152L/h × 24h = 3648L (1 台あたり)
実際の発電回路における電力負荷は、発電機定格の60%～70%としている
燃料タンク備蓄量が30KLとした場合、30,000 ÷ (7296 × 0.6) ÷ 6.8 6日半
約163.2時間稼働可能となる。

(発電機が常に運転している場合)
中央監視装置の帳票データまたは危険物取扱所設置申請書等により確認

様式第2 (第4条関係) 製造所 危険物貯蔵・搬入設置許可申請書 取扱所		総容量 1000 号 平成12年12月18日	
設置者 氏名		申請者 住居 氏名	
設置場所の地域別 指定なし		第一種中密度住宅専用地域	
危険物の別 数量		貯蔵所又は取扱所の区分 一般取扱所	
危険物の品名 (正・副名) 最大数量 第1類 第三石油類 (A石油) 6950 L		最大数量 3,475 個	
位置、構造及び設備の基準に係る区分 全第1条 第2項 (規制第2条第3項の37 第2項)		危険物の貯蔵又は取扱いは、燃焼室内に設置されたと小出庫へ移送、貯蔵し、発電機等に接続する。	
構造、構造、設備の要 危険物の貯蔵又は取扱いは、燃焼室内に設置されたと小出庫へ移送、貯蔵し、発電機等に接続する。		許可後附帯 完全完備	
その他必要な事項 最大数量の 60%~70% 程度を入力		最大数量の 60%~70% 程度を入力	
審査付録 12.12.21 12.12.21		原稿送付 12.12.21 12.12.21	

危険物取扱所設置許可申請書等でも確認可能

[illegible]

稼働時間の確認方法

燃料消費量及び運転時間計算書

$$B = \frac{b \times \text{kW}}{\gamma} = \frac{\boxed{\text{b}} \times \boxed{\text{kW}}}{\boxed{\gamma}} = \boxed{} \text{ ℓ/h}$$

記号の説明

b : 燃料消費量 (kg/kW・h)

kW : 発電機出力 (kW)

γ : 燃料油の比重

A重油 : 0.85

軽油 : 0.83

連続運転時間

$$H = \frac{V}{B} = \frac{\boxed{V}}{\boxed{B}} = \boxed{} \text{ h}$$

記号の説明

V : 燃料タンク容量 (有効容量) ℓ

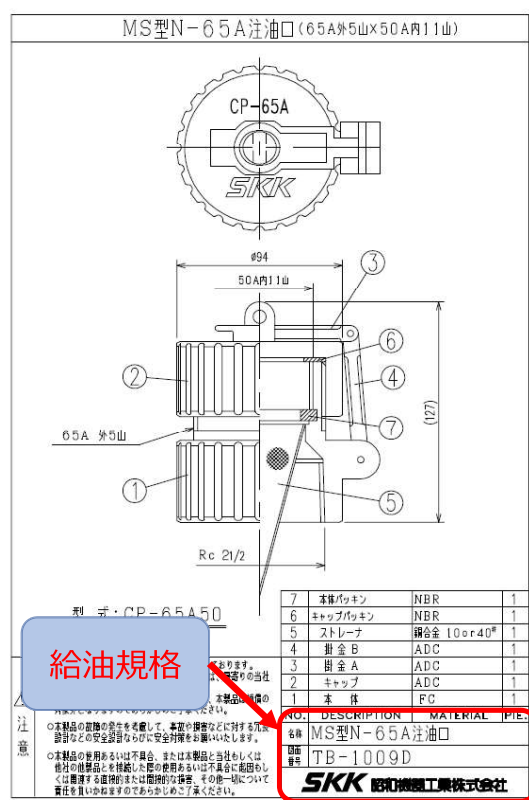
B : 燃料消費量 ℓ/h

給油規格（名称、口径、形式）

設計図

図面

写真



タンク仕様				
型 式	地下埋設式横置タンク			
容 量	30000L			
寸 法	10220φ × 8254L			
材 質	タンク本体SS400			
板 厚	側板、端板 共に、8.0mm			
塗 装	外装 プライマー + ヘッシャंकロス (JIS K 3045) + タールエポキシ樹脂			
	厚さ 2mm			
オイルタンク付属品				
NO.	品 名	型 式	数 量	備 考
1	注 油 口	CP-65	1個	
2	キャップ	EV-1007	1個	
3	排水口	BS-103	1個	
4	排水口	BS-45	1個	
5	排水口	PC-501	1個	
6	排水口	PC-51	1個	
7	排水口	PC-52	1個	
8	排水口	PC-53	1個	
9	排水口	PC-54	1個	
10	排水口	PC-55	1個	
11	排水口	PC-56	1個	
12	排水口	PC-57	1個	
13	排水口	PC-58	1個	
14	排水口	PC-59	1個	
15	排水口	PC-60	1個	
16	排水口	PC-61	1個	
17	排水口	PC-62	1個	
18	排水口	PC-63	1個	
19	排水口	PC-64	1個	
20	排水口	PC-65	1個	



不明な場合は管理業者に問い合わせてください。

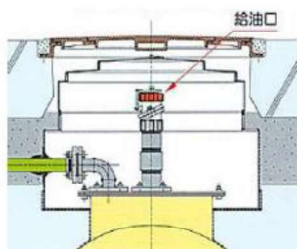
※外観と、ふたを開けた際にネジの段の数が分かる写真があれば正確に分かるようです。

給油規格（名称、口径、形式）

- ・ 地下燃料タンク
給油口のタイプ



給油口ボックスタイプ



地下タンク直上給油タイプ

- ・ 給油口 形式



外ネジタイプ



内ネジタイプ



タンクローリーの
給油ホース側



外ネジ用アダプター



アダプター用キャップ



内ネジ用アダプター

カムロック（ワンタッチ式）

※タンク側の外ネジ又は内ネジ式にカムロック用
アダプターが設置されているタイプ

給油規格（名称、口径、形式）

・給油口 入力について（地下燃料タンク）

規格名称：説明資料で自施設に対応するタイプを選択し入力

※各種図面にも記載されていますが、製造の際すべてJIS規格に基づいて製造されているため、不明の場合はJISを選択してください。

口径：給油口キヨップ等に刻印されている数値をinで選択

1 in = 25A (2.54 c m)	1.5in = 32A (3.81 c m)	2 in = 50A (5.08 c m)
2.5in = 65A (6.35 c m)	3in = 80A (7.62 c m)	4in = 100A (10.16 c m)

形式：説明資料で自施設に対応するタイプを選択し入力

給油規格（名称、口径、形式）

・燃料小出し槽（燃料サービスタンク）タイプ

発電機設置場所近くに小型のタンクが設置されている施設に燃料補給するタイプ

タンク天板に注油口が設けられている

注油口の種類には
フランジタイプと配管キャップタイプがある
（詳細は図面参照）



フランジタイプ
ブラインドフランジで閉じている

フランジタイプの口径は、フランジを外し内部口径を入力してください。



配管キャップタイプ

配管キャップタイプの口径は、配管の直径を入力してください



給油規格（名称、口径、形式）

・給油口 入力について（燃料小出し槽）

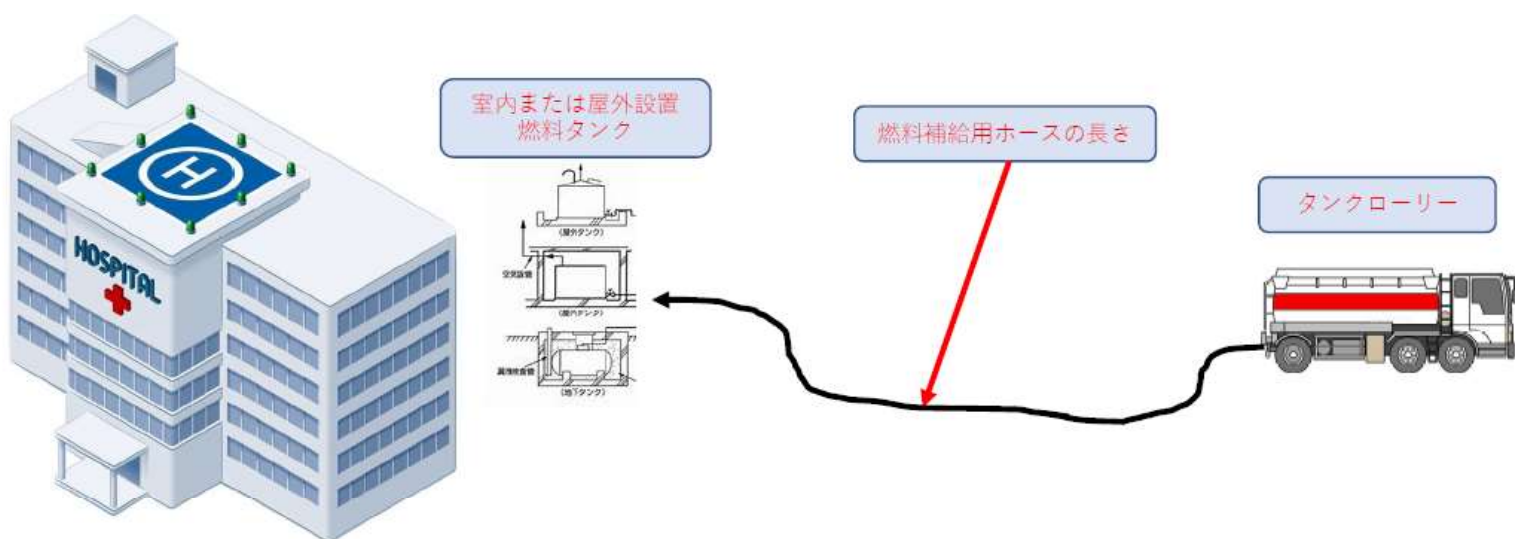
規格名称：フランジタイプ その他にフランジタイプと入力
配管キャップタイプ その他に配管キャップタイプと入力
※発電機関係下段のその他入力欄にガンタイプホースで給油と入力

口径：フランジタイプ フランジボルトを外しフランジを開けて内径を
測定して入力
配管キャップタイプ 配管直径を入力

形式:フランジタイプ その他にフランジタイプと入力
配管キャップタイプ キャップを取り外し配管が外ネジか内ネジか
確認して入力

燃料タンクまでのホース長

電源車から電気供給する場合の車両停車位置（可能であれば図面添付）
受変電室が設置されている箇所の近くで、電源車が停車できる十分な駐車スペースから、受変電室内の高圧受電盤若しくは屋外に設置されている高圧受電キュービクル盤までの距離。



災害時用設備情報 7 (コージェネレーションシステム関連情報)

・入力項目

設置場所（ハザードマップの考慮）、発電容量（KVA）、
燃料種類、燃料量（kL、**稼働時間**）、
給油規格（名称、口径、形式）、燃料タンクの場所、
燃料タンクまでのホース長、優先供給の締結

有無	☒ 有	☐ 無
設置場所	階	
燃料種類	燃料種類を選択 ▼	
燃料量 ※72時間以上が望ましい。	() kL	() 時間稼働
給油口規格	名称: 名称を選択 ▼	口径: 口径を選択 ▼ 形式: 形式を選択 ▼
燃料タンクの場所		
燃料タンクまでの必要なホース長	() m	
優先的な燃料供給協定の締結有無	☒ 有 (事業者名)	☐ 無
その他	複数保有している場合、上記のコージェネレーションシステム関連情報に準じた内容を入力してください。(300文字以内)	

災害時用設備情報 8 (エレベーター関連情報)

医療機関基本情報管理

- 入力項目
- 台数（乗用、寝台用）
- 自動復旧できるシステムの整備
- 優先復旧の協定

台数	台	乗用（ ）台	寝台用（ ）台
自動復旧できるシステムを整備している	☒ 有	☐ 無	
優先的な復旧協定の締結有無	☒ 有（事業者名 ）	☐ 無	

災害時用設備情報 9 (災害用通信・インターネット回線)

医療機関基本情報管理

- 入力項目
- 災害時用通信回線
- 災害時用インターネット回線

災害時用通話回線	☐ 災害時優先電話(固定)	☐ 災害時優先電話(携帯)	☐ 防災無線
	☐ 業務用無線	☐ MCA無線	☐ アマチュア無線
	☐ 衛星電話回線	☐ IP電話	
災害時用インターネット回線	☐ ダイアルアップ	☐ ISDN	
	☐ ADSL	☐ CATV	
	☐ 光ファイバー(FTTH)	☐ モバイルデータ通信（ ）	
	☐ ワイドスターⅡ	☐ BGAN	
	☐ 衛星回線(その他)（ ）		

ライフラインに依存する医療機器等の保有状況



- 入力項目
- 人工呼吸装置（保有数、機種等）
- 人工透析装置（保有数、機種等）
- 保育器（保有数、機種等）

0 台の場合は「 0 」を入力する

ライフラインに依存する医療機器等の保有状況		
医療機器等名称	保有数	コメント(200字以内)
人工呼吸装置		
人工透析装置		
保育器		
その他 1		
その他 2		

更新

入力完了後に【更新】をクリック

県内病院管理者 様

長崎県医療政策課長
(公印省略)

広域災害救急医療情報システム(EMIS)の医療機関基本情報入力に係る
Web 説明会の実施について(案内)

時下、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、日頃から本県の災害医療施策の推進に格段のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、この度は、EMIS の基本情報の更新及び追加入力にご協力いただき誠にありがとうございました。

更なる入力率の向上のために下記のとおり Web 説明会を実施いたしますので、ご参加のほどよろしく願いいたします。

なお、5 月 31 日以降、未入力項目がある病院様には、後日、長崎DMAT・災害医療ロジスティクス検討部会委員から未入力理由の確認及び入力支援の連絡を予定していますことを申し添えます。